## 第104回全国高等学校野球選手権宮城大会

□大会第10日目 7月23日(土)

準々決勝 石巻市民球場 仙 台 育 英 0 0 0	号 2 時間 46 分 0 1 0 2 1 0	4	【仙】 27 7 3	盗 犠 四 三 残 6 6 8 6 10	失 併 0
日本ウェルネス 0 0 0	0 0 0 0 0 0	,   0	[日] 29 4 0	0 2 0 14 4	3 1
(球) 西山 充 (一) 武田	徹 (二) 森山 宏則 (三) 佐藤 圭	)	▽本塁打	なし	
【仙】 髙橋,古川			▽三塁打	なし	
【日】 早坂, 菅井 ▽暴投 早坂1(日)			▽二塁打	齋藤陽 三浦黍	(仙)

【仙台	育 英 】	打数	安打	打点
(-)	住石 孝	3	1	0
(遊)	山田 脩	2	0	0
(二)	秋元 響	2	0	1
(右)	齋藤 陽	5	3	1
(捕)	尾形 樹	4	1	0
(左)	遠藤太	4	1	0
走左	藤井 一	0	0	0
(三)	森 蔵人	1	0	0
Ξ	洞口 優	1	0	0
(投)	髙橋 煌	1	0	0
打	佐藤 悠	1	0	0
投	古川 翼	0	0	0
(中)	橋本 航	3	1	1

【日本ウェ	ルネス宮城】	打数	安打	打点
(遊)	千葉 涼	3	0	0
(捕)	笹村 航	3	0	0
捕	高橋 幸	1	0	0
(中)投	菅井 惇	4	0	0
(投)中	早坂 海	4	0	0
()	三浦 秀	3	1	0
	佐藤 栄	0	0	0
(右)	西内 洸	3	0	0
(左)	萱場 勇	1	0	0
打	山本 悠	1	1	0
走左	峯田 扇	1	0	0
(三)	新妻 斗	2	1	0
()	鈴木 太	2	1	0
	三 権 流	1 1		0

投手名	打数	投球数	924558	STERN	検安打	本塁打	犠打	犠飛	三振	四球	死球	暴投	ボーク	失点	自責点
髙橋 煌稀	17	72	5	0	4	0	2	0	8	0	0	0	0	0	0
古川翼	12	39	4	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0

投手名	打数	投球数	99EB	2000	檢安打	本亞打	犠打	犠飛	三振	四球	死球	暴投	ボーク	失点	白責点
早坂 海思	21	130	7	0	5	0	3	1	5	6	1	1	0	3	1
菅井 惇平	6	33	2	0	2	0	2	0	1	1	0	0	0	1	1

□ [評] □ ここまで順当に勝ち上がってきたシード校同士の対戦は、第1シードの仙台育英が日本ウェルネス宮城に勝利した。 序盤から4回までは、緊迫した投手戦で両校とも無得点の展開となったが、5回に仙台育英が一本の内野安打を足掛か りに四球と犠打および犠飛を絡めてしぶとく 1 点を先制した。さらに後半に入り 7 回には相手のミスにも乗じて 2 点を 追加、続く8回にも1点を加えた仙台育英がベスト4進出。一方の日本ウェルネス宮城は、相手投手陣の継投の前に打 線が奮わず、14三振を喫するなどで悔しい完封負けとなった。記録:鈴木達雄(仙台西)

## 第104回全国高等学校野球選手権宮城大会

□大会第10目目 7月23日(土)

【聖和	」 学 園 】	打数	安打	打点
(中)	三浦 広	3	2	0
(右)	駒井 志	3	1	1
(左)	山内 海	5	3	3
(三)	大 久 保	5	1	0
(-)	髙橋 拓	5	3	5
(遊)	佐藤 丈	4	2	0
(捕)	山田 凌	3	0	0
( <u></u> )	髙橋 瑛	3	0	1
(投)	阿部 航	4	2	3

【東	北】	打数	安打	打点
(右)	佐藤 玲	3	0	0
(遊)	小野 洋	3	1	0
(中)	金井 翔	3	0	0
(投)左	伊藤 千	2	0	0
(左)	布川 碧	1	0	0
投	井山 颯	1	0	0
投	高野 秀	0	0	0
(捕)	生方 一	3	1	0
(_)	井島 亮	3	1	0
(-)	遠藤琉	3	1	0
(三)	佐藤 響	1	0	0

投手名	打数	按球数	928BB	541148	被安打	木塁打	犠打	犠飛	三振	四球	死球	暴投	ボーク	失点	白責点
阿部 航大	23	95	7	0	4	0	1	0	4	1	1	0	0	1	0

投手名	打数	投球数	99EB	pener	検安打	本亞打	犠打	镊飛	三振	四球	死球	暴投	ボーク	失点	自責点
伊藤 千浩	20	89	4	2	6	0	0	0	7	1	2	1	0	5	5
井山 颯人	11	53	1	2	6	0	0	0	1	2	0	1	0	8	8
高野 秀	4	20	0	2	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0

## 【評】

3回までは東北主戦伊藤の圧巻の投球で聖和打線を寄せ付けず進んだ。その後、天候不良による53分の中断を挿み、4回表の聖和学園の攻撃で1番三浦がレフト前安打、2番駒井の死球、2死から5番高橋の2点タイムリーで先制。さらに5回の攻撃で1死から9番阿部のレフト前ヒット、1番四球、2番死球後3番山内のセンター前2点タイムリーヒット、更に5番高橋のレフト前タイムーヒットで3点を追加し試合を優位に進めた。

ここで東北主戦伊藤が退いた。その後,聖和学園打線は7回に打者1巡の猛攻で一気に突き放し7回コールドで勝利を収めた。東北は4安打1得点と聖和学園主戦の阿部に抑え込まれた。記録:川村桂史(本吉響)